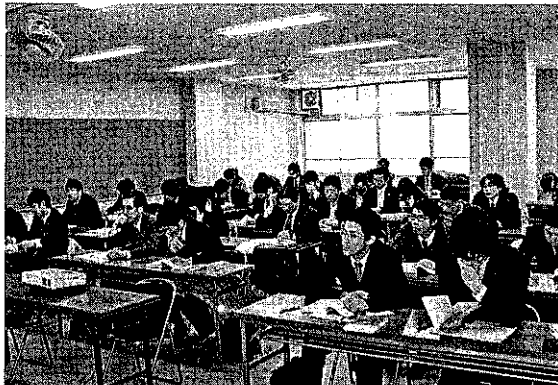


新規配置従事者32名が受講した講習会場



広島県と配置連合会 20年度 第2回 新規薬事講習会 調剤薬局からの受講も

広島県業務課主催・広島県配置医薬品連合会（小島恒治会長）共催の平成二十年度第二回新規薬事講習会は、二月二日午前十時から午後五時まで、広島市の広島県庁農林庁舎一階一〇二会議室で開催され、三十二名が受講した。今回の新規受講者には調剤薬局から新たに配置薬業界に入ってきた業者もあった。

金田和宏連合会副会長の司会進行で、午前中は広島県健康福祉局保健医療部業務課の廣貴浩一専門員が配管販売に係る確認事項や一般用医薬品販売制度の改

正等について解説。午後からは連合会が選定した登録販売者試験受験用テキストに基づき、連合会教育研修委員会（金田和宏委員長）による薬事講習を行った。

午後の講習内容は▽人体の働きと医薬品（担当：金田和宏薬剤師）▽精神神経に作用する薬、呼吸器官に作用する薬（担当：門那良三登録販売者）▽胃腸に作用する薬、心臓などの器官や血液に作用する薬、排泄に関わる部位に作用する薬（担当：二反田正弘登録販売者）▽医薬品の適正使用・安全対策（担当：小池一正薬剤師）―で、講習後には六十六問の〇×式確認テストを行った。テストの平均点は八三・四点だった。

最後に、小島連合会会長があいさつを兼ねて配管販売業の心得を講義し、法令やモラル順守の重要性などを強調。田尻晃連合会副会長の閉会の言葉で終了した。